

悲惨な火災から家族の命を守る

住宅用火災警報器は

義務設置です!!



■ 義務設置箇所

□ 推奨設置箇所

住宅用火災警報器は

10年を目安に交換しましょう!

(電池切れや電子部品の劣化などが起こります)

また、定期的に作動確認し音を聞きましょう!!

(ボタンを押す、または紐を引いて作動確認できます)

義務設置箇所は、
寝室階段等で
煙感知器が
必要です。



詳しい内容は、ホームページで確認することができます。➡



火災から命を守りましょう!!

全国では、住宅火災によって毎年約1,000人の方が亡くなっています。その半数が「逃げ遅れ」によって亡くなっており、約7割が65歳以上の方です。

住宅火災の発生や逃げ遅れを防ぎ、いのちを守るために、日頃から取り組むべき「いのちを守る10のポイント」を紹介します。

住宅
防火

いのちを守る

10のポイント

4つの習慣



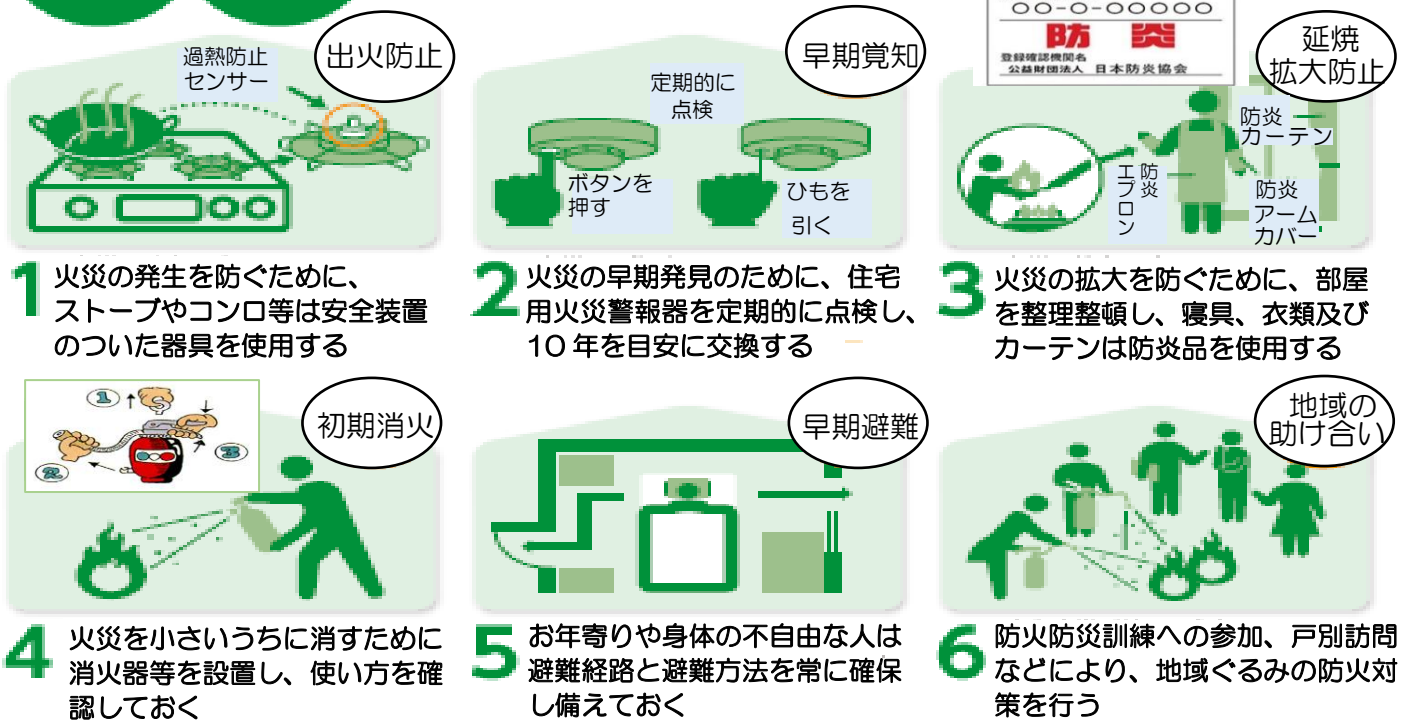
1 寝たばこは絶対にしない、させない

2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない

3 コンロを使うときは、火のそばを離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は安全装置のついた器具を使用する

2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する

3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは防災品を使用する

4 火災を小さいうちに消すために消火器等を設置し、使い方を確認しておく

5 お年寄りや身体の不自由な人は避難経路と避難方法を常に確保し備えておく

6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

住宅用火災警報器を寝室と寝室がある階の階段上部に設置し定期的に点検及び交換をするようにしましょう。(裏面参照)

郡山地方広域消防組合